

令和3年度 麦田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —	
◆ 事業計画	
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性	
<p>・地域住民の中で「ケアプラザ＝高齢者を対象とした施設」というイメージは定着しているが、幅広い対象者の相談を受け止める施設としては十分に認識されていない。地域においては、関わりが多い自治会町内会や住民だけでなく、より多くの住民に向けてケアプラザの機能を周知する必要がある。</p> <p>・地区社協、連合等による話し合いが活発になっており、事業の見直しや新たな取り組みの検討が進みつつある。地区別計画を地区全体で進めていくためにも、より多くの住民に各団体の活動目的や事業を周知していかなければならない。地域に身近なケアプラザが地域の動きをキャッチし、地域支援チーム内で情報共有、連携を図ってサポートしていく。</p> <p>・多くの課題を抱える世帯が増え、サービスだけで解決できない相談が増加している。地域住民の健康的な在宅生活を支えるために、診療所や薬局、医療相談室など地域の医療機関との関係作りを進める。また、障害関係機関とも連携を密にとれるよう、顔の見える関係作りを継続する。</p>	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
— 具体的な取組内容 —	
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・連合定例会において広報紙「おおむぎこむぎ」の回欄を依頼し、ケアプラザの事業内容周知を図る。 ・SNSなどを活用し多世代に情報が届くよう工夫する ・職員が行う出前講座のおしながきを作成し、地域に配布し自治会町内会や老人会での出前講座を積極的に行う。 ・役員会や祭礼行事等、高齢者以外が集う場所にも積極的に出向き顔の見える関係づくりに努める。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の数値的データを分析し特性をつかむだけでなく、地域へ出向いた際には住民に生活状況のヒアリングを行いニーズをつかむ。個別ケースにおいても、フォーマルサービスだけでなくインフォーマルな資源も活用した支援ができるよう5職種で密な状況共有や支援方針の統一を図る。 ・地域課題解決に向けた取り組みを地区が一体となって行えるよう、地区社協等と協力し研修・講座を実施する。
<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内、及び近隣の医療機関（開業医、歯科医、薬局など）を訪問しケアプラザのパンフレットや包括職員の写真入りカード、広報紙を配布する。 ・障害関係機関の会議に参加し、顔の見える関係をつくる。 ・障害の作業所や事業所へ訪問しケアプラザのパンフレットを配布する。
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
◆ 事業報告・事業実績評価	
<input type="checkbox"/> 振り返り	
<p>地域住民へのケアプラザの周知を図るため、LINE、フェイスブック等のSNSの活用や、広報紙や包括カード等の紙媒体を活用しながら、ケアプラザについての周知を図ることが出来た。これまで配架を依頼していなかった医療関係や商店などにも配架を依頼することができた。SNSを見て、ケアプラザの取組みを知り、連絡をくれた方もおり、一定の効果があつたのではないかと感じている。</p> <p>第三地区内で行われている地域活動に、積極的に顔を出し、関係作りに努めた。また、地域で得た情報を地域支援チームに還元し、細かに報告することによって、チームとしての方向性を示すことが出来たのではないかと感じる。その結果、地区別計画研修（ワークショップ）を通し、支援チームと地域とが一体となって企画、開催に向けての調整や話し合いをすることが出来たと感じる。</p> <p>また、包括支援センターにおいては、高齢者のみならず、障がい福祉関係の相談も増えたことから、これまで以上に障害分野との連携の必要性を感じ、区域で行われている「中区三機関定例会カンファレンス」へ参加し、中区内での障害支援に関する支援機関の把握に努めた。</p> <p>地域活動に参加した際に住民から得た情報を5職種間で共有し、必要に応じて、コーディネーターと包括職員が協力して訪問等を行い、それぞれの職種から出来ることを考え取組む等連携することができた。</p> <p>実施した利用者アンケートからは、利用できるサービスの範囲が分からないとの声もあつたため、介護保険だけでなく、地域で行われている活動や、ケアプラザ内の自主事業等も紹介しながら、相談者に応じた対応が出来るように心がけていく。</p>	
<input type="checkbox"/> 区からのコメント	
<p>【福祉保健課】 地域のニーズを継続的に実施可能な地域活動となるよう、地域住民に寄り添い、支援していただきました。地域の詳細な情報を把握し、地域支援チームで共有していただきました。引き続き、コロナ禍で休止していた地域活動を再開するための工夫や留意点を提案する等の地域への支援を期待しています。</p> <p>【高齢・障害支援課】 コロナ禍の長期化で自主事業や地域活動の場が制限される中でも、SNSと紙媒体をバランスよく活用し、ケアプラザの役割について周知をされていました。ICTのメリットは高齢者の間にも徐々に浸透してきていますので、引き続き積極的な取組をお願いします。</p> <p>地域住民の集まりの場にこまめに足を運び、気軽に話し合える関係をつくってきたことは、今後の地域支援の展開に必ずプラスになると思います。地域支援チームとの連携や住民アンケート等、さまざまな手法を取り入れながら地域アセスメントを行うとともに、住民のニーズに寄り添った支援をお願いします。</p>	

令和3年度麦田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	アセスメントの結果サービスの利用が好ましいと判断された場合「事業所の比較検討に関する利用者説明ガイドライン」に基づいて、事業所の選択を行う等していきます。	法人全体における事故報告を集計分析するとともに、会議等で職員間での共有をしていきます。その結果を受けて、施設で事故の分析や再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に役立てます。また、ヒヤリハット事例の抽出・共有を行い、事故や事故までには至らない潜在リスクの情報についても職員全体で共有・分析し、事故防止につなげます。ケースファイル等個人情報が含まれる書類の取り扱いについて、必要時以外の部持ち出しの禁止といった自己管理の徹底と事業所内ルールを職員に定期的に周知します。
実績	相談者に公正・中立を維持し、意向に沿った選択をしていただけるよう事業所の情報収集及び偏りのない提供に努めました。	朝・夕礼時にヒヤリハット事例・法人内の事例を共有し事故防止に努めました。個人情報の管理に関しては毎日注意喚起を実施しています。職員全体で個人情報取り扱い研修・コンプライアンス研修の実施し職場のスローガンを共有しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	心身機能の改善だけでなく、一人一人の強みや希望を理解し、その人らしさや生きがい、役割のある暮らしをイメージしたプランニングができる。	担当ケースの目標プラン数は月平均110件、認定調査の受託件数は年間で100件を目標とします。
利用料金・実費負担		
職員体制	管理者 1名(兼務) ・主任ケアマネジャー 1名 ・保健師 1名 ・社会福祉士 1名 ・プランナー 1名(非常勤)	管理者 1名(常勤) 介護支援専門員3名 (兼務1名含む常勤1名、非常勤2名)
契約者数	直営:66件 委託:59件	介護:100件 予防:3件 総合:4件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	通所介護 利用者平均人数 25名/日 介護予防、第1号 利用者平均人数 14名/月		
実施体制	通所介護 【実施日数】 360日 【提供時間】 10:15 ~ 15:20 【定員】 40名 第1号、介護予防 【実施日数】 360日 【提供時間】 10:15 ~ 15:20 【定員】 5名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	食費 ¥ 800		
職員体制	管理者1名(常勤) 生活相談員3名(常勤) 看護師兼機能訓練指導員6名(非常勤) 介護職員12名(非常勤) 運転員5名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】8671名 【契約者数】介護:116名 総合:15名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「麦田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,631,871	928,472	17,560,343	18,464,568	△ 904,225	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0	8,700	△ 8,700	
雑入	0	0	0	21,600	△ 21,600	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	21,120	△ 21,120	
その他			0	480	△ 480	
その他	4,400,169		4,400,169		4,400,169	
収入合計	21,032,040	928,472	21,960,512	18,494,868	3,465,644	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	9,146,099	2,166,901	
本俸	11,313,000		11,313,000	6,870,824	4,442,176	
社会保険料			0	816,752	△ 816,752	
手当計			0	1,365,944	△ 1,365,944	
健康診断費			0	12,564	△ 12,564	
勤労者福祉共済掛金			0	6,750	△ 6,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	72,646	△ 72,646	
その他			0	619	△ 619	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	2,868,410	△ 1,510,410	
旅費			0	17,088	△ 17,088	
消耗品費	1,358,000		1,358,000	191,089	1,166,911	
会議賄い費			0	5,000	△ 5,000	
印刷製本費			0	57,438	△ 57,438	
通信費			0	95,734	△ 95,734	
使用料及び賃借料	0	0	0	21,120	△ 21,120	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)			0	21,120	△ 21,120	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	124,043	△ 124,043	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	10,116	△ 10,116	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料			0	0	0	
リース料			0	124,309	△ 124,309	
手数料			0	1,400	△ 1,400	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	2,221,073	△ 2,221,073	
事業費	306,000	0	306,000	53,387	252,613	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算：指定額
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	264,000		264,000	0	264,000	
その他			0	53,387	△ 53,387	
管理費	6,676,000	0	6,676,000	6,482,801	193,199	
光熱水費			0	3,990,096	△ 3,990,096	
清掃費	6,376,000		6,376,000	1,016,105	5,359,895	
機械警備費			0	198,550	△ 198,550	
設備保全費	0	0	0	893,134	△ 893,134	
空調衛生設備保守			0	413,450	△ 413,450	
消防設備保守			0	19,709	△ 19,709	
電気設備保守			0	59,273	△ 59,273	
害虫駆除清掃保守			0	26,279	△ 26,279	
駐車場設備保全費			0	14,600	△ 14,600	
その他保全費			0	359,823	△ 359,823	
共益費			0	0	0	
その他	300,000		300,000	384,916	△ 84,916	
修繕費	474,000		474,000	1,350,808	△ 876,808	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040		905,040	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,032,040	0	21,032,040	19,901,505	1,130,535	
差引	0	928,472	928,472	△ 1,406,637	2,335,109	

自主事業費 収入	0	0	0	8,700	△ 8,700	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	53,387	210,613	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	△ 44,687	△ 219,313	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「麦田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,108,000		29,108,000	24,271,000	4,837,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	151,000		151,000	154,000	△ 3,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,789,000		5,789,000	5,802,000	△ 13,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000	0	2,035,000	
雑入	0	0	0	550	△ 550	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	550	△ 550	
その他	2,035,000		2,035,000	0	2,035,000	
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	30,227,550	6,855,450	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	28,264,397	4,424,603	
本俸	32,689,000		32,689,000	13,343,550	19,345,450	
社会保険料			0	3,639,982	△ 3,639,982	
手当計			0	9,941,202	△ 9,941,202	
健康診断費			0	31,379	△ 31,379	
勤労者福祉共済掛金			0	26,250	△ 26,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	1,279,628	△ 1,279,628	
その他			0	2,406	△ 2,406	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	676,458	626,542	
旅費			0	356	△ 356	
消耗品費	1,303,000		1,303,000	109,496	1,193,504	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費			0	1,756	△ 1,756	
通信費			0	40,793	△ 40,793	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	8,743	△ 8,743	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	2,689	△ 2,689	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料			0	0	0	
リース料			0	34,545	△ 34,545	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	478,080	△ 478,080	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	435,248	754,752	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	0	100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	153,248	△ 2,248	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	30,000	279,000	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,775,000	0	1,775,000	1,723,269	51,731	
光熱水費			0	1,060,658	△ 1,060,658	
清掃費	1,775,000		1,775,000	270,103	1,504,897	
機械警備費			0	52,778	△ 52,778	
設備保全費	0	0	0	237,412	△ 237,412	
空調衛生設備保守			0	109,904	△ 109,904	
消防設備保守			0	5,239	△ 5,239	
電気設備保守			0	15,756	△ 15,756	
害虫駆除清掃保守			0	6,985	△ 6,985	
駐車場設備保全費			0	3,880	△ 3,880	
その他保全費			0	95,648	△ 95,648	
共益費			0	0	0	
その他			0	102,318	△ 102,318	
修繕費	126,000		126,000	112,264	13,736	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	31,211,636	5,871,364	
差引	0	0	0	△ 984,086	984,086	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	183,248	376,752	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 183,248	△ 376,752	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 麦田地域ケアプラザ

	科目	介護予防支援/第1号介護予防支援			居宅介護支援			通所介護/第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,992	6,660	332	12,884	15,266	-2,382	74,488	77,427	-2,939
	その他	0	0	0	0	310	-310	7,278	7,860	-582
	事業・負担金収入			0			0	7,278	6,932	346
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0		310	-310		928	-928
	収入合計(A)	6,992	6,660	332	12,884	15,576	-2,692	81,766	85,287	-3,521
支出	人件費	2,643	2,513	2,643	11,599	10,237	1,362	46,391	51,935	-5,544
	事務費	10	4	15	69	28	41	181	268	-87
	事業費	46	3,770	44	596	602	-6	25,692	27,875	-2,183
	管理費	0		0	0		0	0	0	0
	その他	3,729	0	3,729	0	70	-70	0	4,138	-4,138
	利用者負担軽減額			0			0		186	-186
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3,729	3,736	3,729			0			0
				0			0			0
	その他			0		70	-70		3,952	-3,952
	支出合計(B)	6,428	6,287	6,431	12,264	10,937	1,327	72,264	84,216	-11,952
	収支 (A) - (B)	564	373	-6,099	620	4,639	-4,019	9,502	1,071	8,431

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることを
 ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症高齢者ミニデイ「月曜喫茶室」	平成17年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・認知症の高齢者の在宅生活を地域で支える仕組みづくりの一環として実施。 ・認知症の進行を遅らせ、地域の中で元気に生活できるよう支援する。 ・家族の負担軽減を図る。 ・地域への認知症についての啓発。	1：高齢者	5：地域	ボランティアが中心となって実施する、軽度認知症の高齢者を対象としたミニデイサービス。 毎月第2、第4月曜日13:30～15:40	18	103
2	高齢者向けサロン「麦麦ハッピーくらぶ」	平成28年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・趣味や話の合う仲間づくり、閉じこもり予防、リフレッシュなど ・高齢者のニーズ把握の機会	1：高齢者	5：地域	地域の高齢者を対象とした趣味と憩いと交流のサロン事業。 毎月第3木曜日	7	87
3	子育てサポート「読み聞かせ会」	平成19年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・親(養育者)同士の交流や情報交換、リフレッシュの場の提供 ・子どもにとって集団活動の体験 ・親や関係機関とケアプラザの顔の見える関係づくり ・住民主体で実施する地域活動のバックアップ	3：養育者及び乳幼児	5：地域	子育て中の親子で集える場の提供。絵本の読み聞かせや手遊びによる情操教育。 毎月第1水曜日10:30～11:30	8	65
4	子育てサロン「むぎた子育てサロン」	平成16年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・親(養育者)同士の交流や情報交換、リフレッシュの場の提供 ・子どもにとって集団活動の体験 ・親や関係機関とケアプラザの顔の見える関係づくり	3：養育者及び乳幼児	5：地域	子育て中の親子で集えるフリースペースサロン。 毎月第4水曜日10:00～12:00	8	84

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
5	障がい者の 余暇のサークル 「CLUB Q」	平成18年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・就労している知的、身体障がいのある人 同士の仲間づくり・社会性修得の場・余暇の充実 ・職場や家庭以外の安心して集える居場所づくり ・就労している知的、身体障害のある人や 関係機関とケアプラザの顔の見える関係づくり	2：障害児・者	5：地域	一般就労や作業所に通う知的障がいのある若い世代のサークル活動 (予算・収支管理は「ぽ〜と」) 毎月第4金曜日18:00～20:00 年に数回外出や別日に実施あり。	12	95
6	ふれあいサロン	平成12年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・第3地区連合町内会エリアの高齢者の見守りや閉じこもり防止。 ・民生委員児童委員とケアプラザ職員の顔の見える関係づくり。	6：事業者	5：地域	・折り紙、ゲーム等のレクリエーション ・気功やヨガニサイズの実施 毎月第2木曜日13:00～15:00	7	95
7	施設利用団体交流会	平成31年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・新たな活動の場となるきっかけづくり。 ・登録団体Ⅱには福祉保健活動の具体的な活動内容や活動の場を紹介。 ・各団体同士の交流を深め、団体同士の顔の見える関係づくりをする。 ・施設利用団体へケアプラザの役割、地域活動の意義、施設利用のルールを再確認し、順守を促す。	5：地域	5：地域	・ケアプラザの説明、施設利用ルールの確認 ・各団体の紹介 ・グループに分かれて茶話会 年1回実施	1	23
8	体験学習・体験ボランティアの受入れ	平成12年度	1：地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・子どもたちの福祉学習・教育の場の提供 ・学校との連携 ・ボランティア希望者の受入	5：地域	7：その他	通所介護(デイサービス)や地域交流事業での体験学習受入れ。 都度	0	0
9	障害者支援事業	平成31年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域住民が障害の特徴を理解し、障害者と共にお互いを支え合って生活できるよう支援する。	2：障害児・者	5：地域	大和町にある部屋を借りて地域住民に障害についての知識を深めて頂くための講座を開催。当事者、及びその家族にもご協力いただいた。	3	110

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
10	食育講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就学児の親子を対象として、専門家も交えながら栄養バランスのとれた食事をレクチャーする。地域の健康意識の向上や参加者同士の交流を促す。	3:養育者及び乳幼児	5:地域	子育て支援拠点のんびりんこと中区ヘルスメイトと子育て世代を対象に食育講座を予定し打ち合わせもしたが、コロナの影響で中止。	0	0
11	ハローよこはま	平成26年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	中区民まつり「ハローよこはま」において、ケアプラザの周知を目的としてブースを設置(区内6地域ケアプラザ合同)。他CPの他職種と一緒に事業をおこなうことで連携を深める。	5:地域		区内6地域ケアプラザの周知のため、チラシを配布。子どもが立ち寄りやすいようコイン落としを実施し、景品を渡す。CPIに関するクイズを実施し、景品を渡す。 →中止	0	0
12	麦田地域ケアプラザイベント	平成31年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①普段くる機会の少ない住民へケアプラザの周知。 ②施設利用団体やボランティア活動団体に活動の場の提供。 ③多世代交流のきっかけを作る。	5:地域		11月実施予定 →中止	0	0
13	民生委員・ケアマネ交流会	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	民生委員・児童委員とケアマネジャーの連携協働の関係作りから、地域包括ケアの実現に向けたあらたな社会資源の創出や活性化につなげる。	5:地域	6:事業者	8月・2月に実施予定 →中止	0	0
14	出張講座	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	身近な場所で健康づくりや介護・福祉についての情報提供や、具体的方法についての指導を行い、地域住民の健康づくりに役立てて頂く。	5:地域	1. 2. 4	・地域のサロンや食事会など、住民に身近な場所で、介護保険制度、ケアプラザ、認知症、介護予防、権利擁護など、地域が知りたいことを相談しながら内容を検討し、講座を実施する。	13	105
15	家族のつどい	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	在宅で認知症の方、およびMCI(軽度認知障害)の方を介護している家族同士が介護における悩みなどを共有し、情報交換やリフレッシュできる場とする。	7:その他	5:地域	フリートークの他、情報交換、勉強会、リフレッシュプログラムなど。 6月:臨床心理士による介護者相談 9月:テーマ未定 12月:テーマ未定 3月:テーマ未定	3	18

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	権利擁護講座 ”成年後見とは？”	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	・権利擁護の普及啓発 ・元気なうちから、将来の事を考えて準備することの大切さを伝える ・意思決定支援	1:高齢者	5:地域	6月6日(土)13:30-15:00予定 講師:社会福祉士 東谷 隆介氏 成年後見制度の基本	0	0
17	ケアマネサロン	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	・民生委員の見守り活動に役立つ情報等の周知 ・民生委員との関係作り ・民生委員との連携強化	5:地域	6:事業者	フリートークの他、情報交換、勉強会、事例検討など。 6月、10月、2月 予定	2	8
18	民生委員ミニ勉強会	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1 優先的に取り組み	・民生委員の見守り活動に役立つ情報等の周知 ・民生委員との関係作り ・民生委員との連携強化	5:地域	1:高齢者	・介護保険制度について ・CPIについて	0	0
19	DIY講座	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	1 優先的に取り組み	①DIYに関すること(障子の張り替えや包丁研ぎなど)をきっかけにボランティアに興味を持って頂き、地域の担い手を増やしていく。 ②男性が参加しやすいよう、興味関心がありそうな内容の講座を実施し社会参加のきっかけとする。	5:地域	1:高齢者	・網戸の張り替え ・包丁研ぎ ・庭木剪定 等 2月~3月に実施予定。 ⇒中止	0	0
20	傾聴ボランティア養成講座	平成31年度	3:生活支援体制整備事業	1 優先的に取り組み	①傾聴ボランティアを養成し、話し相手として施設や個人宅での活動を目指す。 ②身体を使う活動は苦手だが、傾聴ボランティアを行いたいと考える住民の活動を支援する。	5:地域	1:高齢者	講師を招き、傾聴のコツや心構え等を学ぶ。 11月or12月実施予定。	0	0
21	第3地区 サロン交流会	令和2年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	①サロンの担い手同士の情報交換 ②CPからの情報提供によるモチベーションアップ、サロン活動者の悩みや課題の把握。	5:地域	1. 6. 7	第3地区区内でサロン活動を行う町内会・老人会の担い手を招待。活動紹介を通じた居場所活動の意義再確認と、サロンで使える情報提供を行う。 12月or1月頃予定	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
22	介護予防講座	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者が増えることを目指す。	1：高齢者	5：地域	「麦田フラダンス教室」(会場：麦田CP) 6月～9月 (内容：フラダンス・口腔ケア・栄養指導) 「麦田ウォーキング教室」(会場：麦田CP) 10月～12月 (内容：ウォーキング・口腔ケア・栄養指導)	14	115
23	医療講演会	平成31年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民に身近な疾患や最新の医療情報についての知識を深めてもらい、疾病予防に役立ててもらおう。協力医、近隣の医療機関との連携を図る。	5：地域	7：その他	協力医による医療講演会(会場：麦田CP) 6月：「結核について」 11月：「健康診断の見方について」	2	11
24	地域支援事業	平成30年度	7：共催(1と2と3)	2：発展させるねらい	健康講座から立ち上がった地域住民主体の健康クラブの自立支援、また元気づくりSTや各老人会の活動など、すでに自立している団体の活動が活発に維持出来るよう支援を行う。	1：高齢者	5：地域	活動に定期的に参加し情報提供や相談対応を行う。また、依頼に応じて講座を行う。 ・上野町東部：毎月1回 ・西之谷：年間数回 ・豆口台上町：偶数月第3火曜 ・本牧緑ヶ丘：奇数月第2水曜 ・麦田町：第1水曜日 他老人会等	40	282
25	スマホ教室	令和3年度	5：共催(1と3)	2：発展させるねらい	主に高齢者がスマホやPCを利用し、家族や友人とコミュニケーションを図れるようにすること。 教室で知り合った方同士が繋がりを持つこと。	1：高齢者		ボランティアや専門職によるスマホ(またはPC)の使い方講座。 実施月、頻度未定 →令和4年度に実施予定	0	0
26	麦田芸術大学	令和3年度	5：共催(1と3)	2：発展させるねらい	企業、NPOと連携することでそれぞれの特徴を生かした事業を実施し、連携を深める。 芸術を通して地域住民に新たな体験を提供する。 R4年度以降に定例開催し、居場所づくりの一環とする。	4：子ども・青少年	1：高齢者	認定NPO法人あっちこっこの所属アーティストによる講義、ワークショップ 子供向け：8月 大人向け：9～10月	6	46